

株式会社 Luup 概要ご説明



1. LUUPとは

マイクロモビリティを、スマホひとつで、 好きな場所で借りて好きな場所に返せるサービス



Luup のミッション

街じゅうを「駅前化」する
インフラをつくる

つまり、
Luupがつくるインフラによって
街の隅々まで利便性を高め、
「街と人と乗り物の共生」が促進され、
街がさらなる発展を遂げること

テクノロジーを活用した短距離移動インフラを構築し、 様々な移動課題に応える

電動アシスト自転車

2020年～



電動キックボード

2021年～



電動シートボード

2025年11月～



ユニバーサルカー

Unimo (ユニモ)

2026年度に複数地域で実証予定



※ 車両は現在開発中のものです。正式導入時には細かい仕様変更になる可能性があります。

2026年6月時点のLUUP

ポート数

17,800+

展開エリア

44

車両台数

50,000+

アプリDL数

6,000,000+

2. 京都におけるLUUP

京都オフィス開設のごあいさつ

2021年11月のサービス開始以来、多くの皆さまにご利用いただき、京都市内におけるポート拠点数・利用者数も着実に拡大してまいりました。

一方で、モビリティサービスは単なる移動手段ではなく、**地域の景観や暮らし、歩行者との共存の中で成り立つもの**であると、私たちは考えております。そのため、自治体・警察・地域の皆さまと連携しながら、安全啓発やマナー向上活動にも継続的に取り組んでまいりました。

京都という地域において、一過性ではなく、**地域の日常に調和しながら、長く信頼いただける存在**になりたい。その思いと覚悟の表れとして、このたび京都に拠点を構えることとなりました。

今後も、地域の皆さまとの対話を大切にしながら、京都の暮らしに寄り添う移動インフラとして、地域に根ざした事業運営に取り組んでまいります。

京都オフィス所在地

〒600-8441

京都府京都市下京区新町通四条下る四条町 369番地
綾小路ビルディング



“観光振興”と “市民の暮らしやすさ”を両立する

京都の未来を創る、 新しいモビリティ・インフラへ。

【地域共生への技術的アプローチ】

京都の歴史ある空間と景観を守るため、GPSなどの位置情報テクノロジーを活用した走行制御を導入することが適切と判断し、地域特性に合わせた安全対策の一環として、通行禁止区域での走行を防止

01

市民の「日常の足」を確保し、オーバーツーリズムを緩和する

市バスの混雑などにより市民の皆さまの日常の移動が妨げられるという課題に対し、観光客の移動ルートを分散・多様化することで市民の「日常の足」を確保し、オーバーツーリズムの緩和に貢献する交通インフラの整備に取り組んでいます。

02

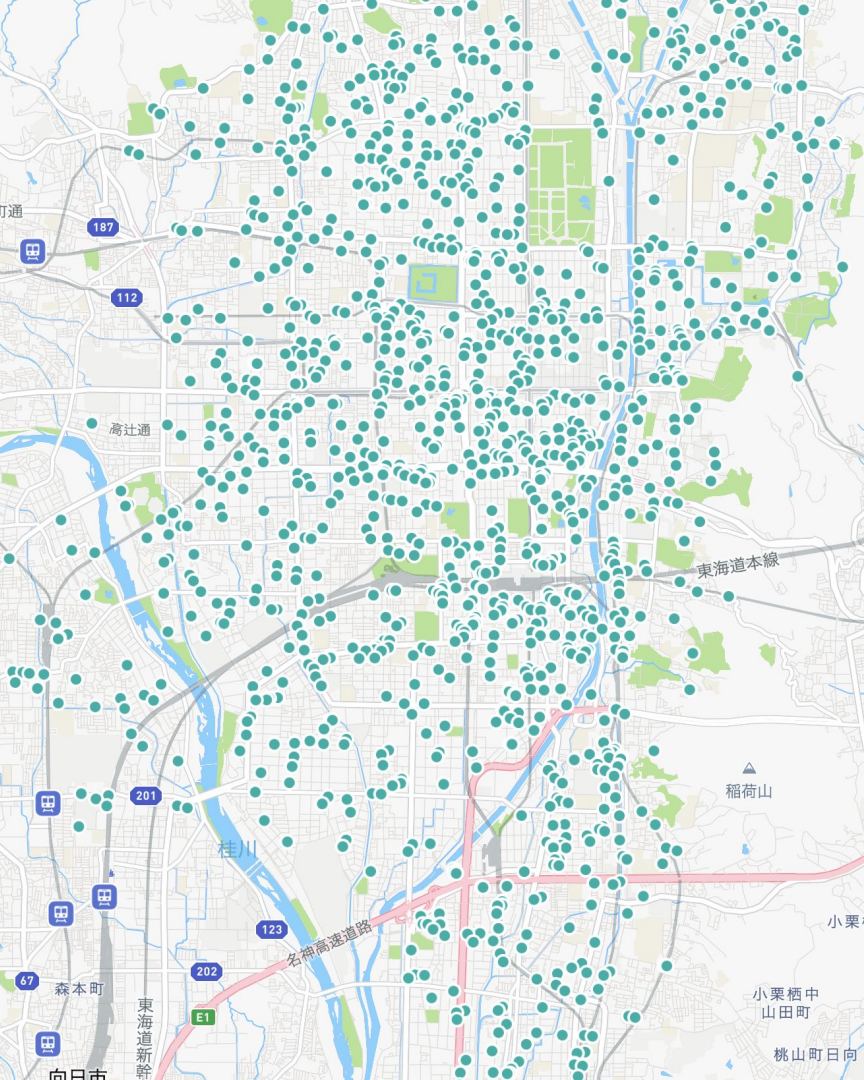
「見えない境界線」で、京都の秩序と景観、文化を守る

位置情報による制御技術は、単なる乗り入れ制限ではありません。京都の大切な空間・景観を守る「見えない境界線」です。京都ならではの生活の作法に深く寄り添い、地域の皆さまと対話し、街の空気を壊さない安心のインフラを育てていきます。

03

誰もが自由に巡り、ずっと住み続けたい街へ

公共交通の空白地帯や、隠れた魅力のある地域をシームレスに繋がります。日常の足として長くご利用いただく中で、ふとした路地裏の新しい魅力や、お店との出会いを生み出します。日々の移動を快適にするだけでなく、京都という街をさらに深く知り、長く愛着をもって住み続けられる、街づくりを目指します。



京都市内のポート

1,440

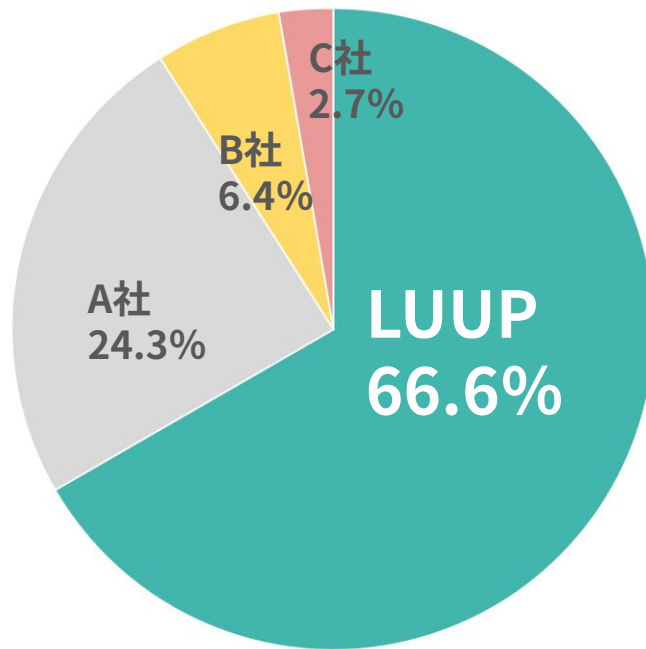
京都府内のコンビニ*

1,009

*セブンイレブン、ファミリーマート、ローソンの公表店舗数の合計(2026年6月時点)

市内のポートシェア率も高水準を維持

京都市内におけるポート数シェア



※2025年2月時点 各社アプリより調査

駅と街を繋ぐ交通網の
強化などを通じて、
沿線エリアの発展を
目指します。



京阪電車と包括的業務提携契約
京都市内 11駅へのポート設置



JR西日本との沿線まちづくり
京都市内 8駅へのポート設置

京都市とLuupが連携協定を締結し、
シェアサイクルの利用・普及促進に向けた
公有地活用を開始



京都市と連携協定締結
京都市内 15箇所の公有地にポート設置

移動を活性化させ、大阪のまちの
にぎわい創出、沿線価値の向上を目指す



Osaka Metroとの資本業務提携契約
全109駅の周辺にポートを設置し、移動手段を拡充、
大阪のまちづくりに貢献する

京都府が職員のLUUP公務利用が開始

京都府と連携協定を締結し、府庁へのポートを設置および京都府職員の公務利用が開始しました。

協定内容について

- ・公務利用でのシェアモビリティ・サービスの利活用推進に向けた取組
- ・京都府庁舎敷地内におけるシェアモビリティ・ポートの整備、維持管理
- ・交通ルール・マナー等の周知、啓発、情報発信
- ・運用の効率化に向けた評価・改善
- ・その他目的を達成するために必要な事項に関すること



2026年1月19日（月）協定締結式

3. 安全対策

すべての皆様にとって安心・安全なインフラとなるために、 安全対策3つの方針を徹底してまいります

1

利用者に対する 交通安全教育・啓発

- ・ 交通ルールテスト
- ・ 学習コンテンツ
- ・ オウンドメディアでの発信
- ・ 安全講習会 等

2

危険利用者への 厳しい対処

- ・ 手押しゾーンの設定
- ・ 危険行動検知システム
「LUDAS」
(LUUP Dangerous-Activity Detection Systems)
- ・ 交通違反点数制度
- ・ 警察からの違反情報の連携 等

3

車両・サービスの 安全性向上

- ・ 車両改善
- ・ 年齢確認
- ・ ナビ機能
- ・ 誤進入防止サポート機能
- ・ ヘルメット有人貸出
- ・ アルコール検査
- ・ 反応テスト 等

3. 安全対策 — サービス利用前の対策

登録時に交通ルールテストの全問正解が必須となります



テスト内容強化（重要な変更点）

	現行	新テスト
設問数	11 問	14 問
出題順	固定	毎回ランダム表示

- ・一時停止や信号等、いくつかの出題内容を追加
- ・出題順のランダム化の目的は、不正行為を防止し、テストの妥当性を高めるため
- ・また、交通ルールを正しく理解していただくため、全設問にイラストを挿入しルールをわかりやすく解説するほか、間違えた設問を重点的におさらいできるように、テストの設計を変更

訪日外国人の方々にも英語にて対応いただいております。

都心部の主要ポートに「自転車通行規制MAP」を掲示しております

京都都心部 自転車通行規制 マップ

通行禁止
時間帯

色	時間
赤	終日
紫	07:00~20:00
緑	08:00~21:00
黄	10:00~24:00
青	10:00~05:00
水	13:00~24:00
黄	13:00~05:00



自転車通行規制マップは
サイト上でも
ご確認ください

鴨川の河川敷での
電動キックボードの通行は
禁止です

自転車通行規制を守って
京都を楽しみましょう



各所、啓発看板をご掲載いただき
誠にありがとうございます。



弊社といたしまして
左図の内容の啓発看板を
利用の多いポートに掲載させて
いただいております。



オフラインによる安全対策活動も定期的の実施しております

京都府警さまや京都市さま、地域と連携して各種安全対策活動を実施

- 出町柳駅前啓発活動（25年7月）
- 八坂前/三条駅前啓発活動（25年9月）
- 知恩院にて安全講習会（25年9月）
- **都心部の自転車マナーを向上させる会啓発活動（25年11月）**
- 京都先端科学大×府警×Luup産学連携ポスター作成（25年11月）
- 四条通南座前啓発活動（26年1月）



四条通 自転車・キックボードの走行「あきまへん」 舞妓ら呼びかけ

石山綾香 2025年9月12日 10時45分



紙面の交差点で舞妓らが交通ルールを守るよう呼びかけた。2025年9月10日午後2時44分、京都市東山区、石山綾香撮影

京都市の中心を東西に走る四条通は午前8時～午後9時、八坂神社の前の東大路通からオフィス街の烏丸通まで、自転車や電動キックボードを走らせることが禁止されている。ただ、知らずに走らせる違反が目立つとして、東山署は10日、シェアサービスを展開する「Luup（ループ）」や花街・祇園東の舞妓（まいこ）らと注意を呼びかけた。

ループによると、シェアサイクルや電動キックボードのポート数（5月時点）は京都市で約1130、東京23区の約6700、大阪市の約1400に次いで全国で3番目に普及している。署には



3. 安全対策 — サービス利用中の対策

誤進入防止サポート機能



進入してはいけない場所を事前にお知らせ

- ・電動アシスト自転車・電動キックボード双方に適用
- ・利用者は自分の走行ルートと進入禁止の場所をマップ上で照らし合わせることが可能
- ・目的地ポートの事前予約を必須化している
LUUPだからこそ実現できる

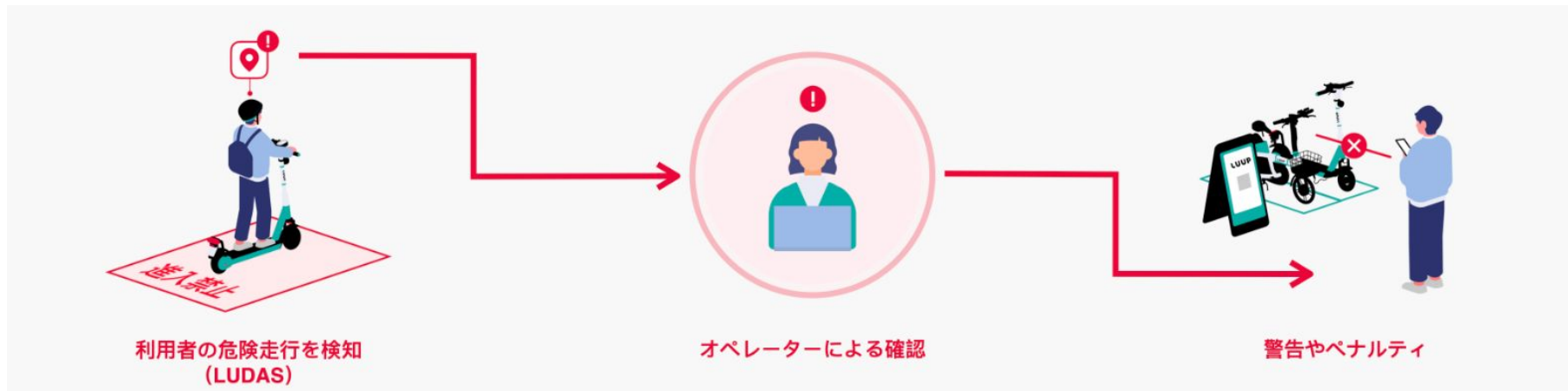
手押しゾーンの設定とアプリ内でのナビゲーション機能



自転車・電動キックボードが走行不可の
道路の該当箇所をアプリ内で赤く明示

また、目的地までの道のりが
ナビゲーションされる機能を搭載

LUUP危険行動検知システム「LUDAS」に基づく警告・ペナルティ制度



- 公園・広場等の走行
- 通行禁止道路の走行
- 大通りの逆走・逆側歩道走行

- 検知情報が届いたら、オペレーターが確認
- オペレーターが、危険走行を検知した時刻前後の移動軌跡などの他の情報も加味して、警告・ペナルティを科すかを判断

- 警告：アプリ内やメールで具体的な警告を表示
- ペナルティ：利用停止措置等を実行

3. 安全対策 — 京都ならではの安全対策

祇園祭期間の交通ルール啓発



停止ポート例

詳細: <https://luup.sc/news/2026-06-23-gion-festival/>

祇園祭の期間中、都心部にて交通ルール啓発を実施

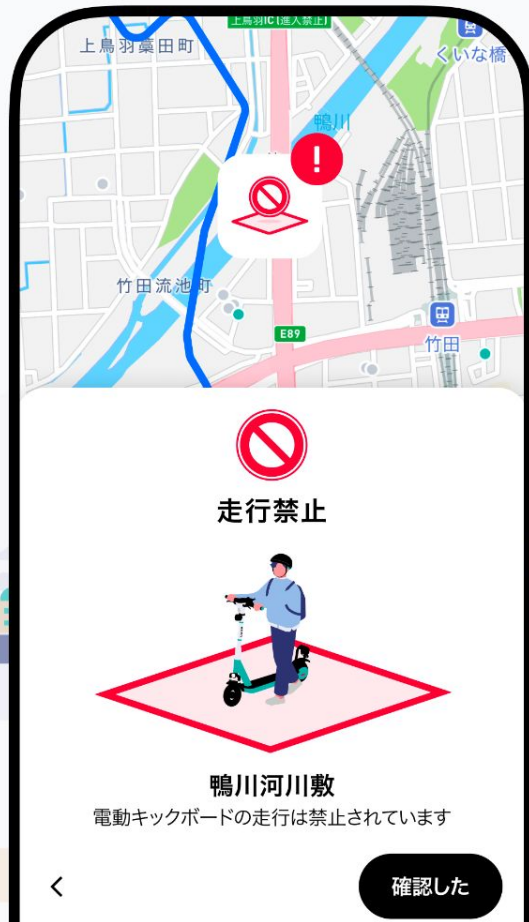
- ・ 宵々山～山鉾巡行期間などにおいて、通行禁止道路に面するポートを一部時間帯休止
- ・ アプリプッシュ通知機能にて、交通ルール啓発を実施
- ・ 一部ポートの看板に、祇園祭の交通ルール啓発ポスターを掲載

行事	対象ポート数	停止期間
前祭 (長刀・函谷等曳初)	5ポート	7月12日 (日) 14:00~17:30
前祭 (宵々山・宵山)	43ポート	7月15日 (水) ~16日 (木) 17:00~23:30
前祭 (山鉾巡行)	46ポート	7月17日 (金) 7:00~14:30
前祭 (神幸祭神輿渡御)	2ポート	7月17日 (金) 17:00~19:30
後祭 (山鉾巡行)	37ポート	7月24日 (金) 7:30~13:30

4. 「地域みまもりストップ機能」について

自動で止まる、 新しい安全機能

京都・鴨川沿いに「地域みまもりストップ機能」を導入



6/23（火）に記者発表いたしました。 行政6部署・報道機関13社さまにも足を運んでいただきました。



※写真左から京都土木事務所桑葉所長、Luup代表取締役CEO岡井、
京都府警本部モビリティ対策室本谷室長

Luup、京都・鴨川で電動キックボード自動停止 禁止区域でGPS活用

スタンダード版 | + フォローする
2026年6月23日 14:11

6/23



Luupは京都・鴨川の一部区域で自動停止する機能を導入した。(23日、京都市)

危険場所で走行自動停止 Luup、京都で初導入

2026年6月23日 10:08:32 共同通信

6/23

f

o

みんなの感想は？



鴨川沿いの河川敷を電動キックボードで走行する「Luup」の社員=23日午前、京都市

京都市の鴨川で走行禁止「電動キックボード」姿 絶えず「数秒間で動かなくなる」業者が導入した 手段とは

京都市

2026年6月24日 4:55

高山浩輔

保存

印刷

X

f

Bl



電動キックボードの貸し出しサービス大手Luup（ループ、東京）は23日、走行が認められていない京都市の鴨川河川敷にキックボードが乗り入れた場合、自動で車両を停止させる運用を始めたと発表した。サービスの普及とともに河川敷の走行が絶えない実態を踏まえ、物理的に走らせなく

トップ > 経済

Luup、京都・鴨川河川敷を走行すると「禁止エリア です」自動停止...GPS活用・指導相次ぎ導入

2026/06/24 09:27

保存して後で読む

シェアする

電動キックスケーターなどのシェアリングサービスを手がける「Luup（ループ）」（東京）は23日、京都府や府警と連携し、電動キックスケーターについて、京都市内の今出川通一五条通間の鴨川河川敷を走行すると、自動停止する機能を導入したと発表した。

Luupが京都での事業展開において何より大切にしてきたのは、
地域の皆さまとの対話を通じ、
京都ならではの生活作法・秩序・景観・文化を守ること

しかし、特定小型原動機付自転車（電動キックボード等）の通行禁止区域である
鴨川沿いの河川敷における一部区間で、走行が発生



京都の歴史ある空間と景観を守るため、
GPSなどの位置情報テクノロジーを活用した走行制御を
導入することが適切と判断し、
地域特性に合わせた安全対策の一環として
「地域みまもりストップ機能」を導入

まちと歩行者の安心・安全をみまもり、自動で止まる

地域みまもりストップ機能





一般的に、GPSを活用した走行の遠隔制御は
車道など車と混在する環境において
利用者が意図しないタイミングで走行が停止することで
事故リスクが高まる懸念があるため、
車が存在しない環境に限定して適用します。

**Luupの安全対策の基本は
利用者の方々に交通ルールの遵守を徹底させることにあり、
走行制御は条件を満たす場所に絞った補完的な手段と位置付けています。**

**今後は、自治体や警察との協議に加え、
地域住民の皆さまのご意見も取り入れながら
効果検証を進めてまいります。**

**また、オーバーツーリズムをはじめとする京都市の課題に対しても、
市民の皆さまの暮らしの利便性を高め、
地域課題の解決につながる取り組みを積極的に進めてまいります。**



街じゅうを
「駅前化」する
インフラをつくる